

FireWire 800 & FireWire 400 & USB 2.0 HARD DISK UNIT

LHD-HAxxBFU2シリーズ

HDユニット

ユーザーズマニュアル

Logitec

目次

取扱い上のご注意	1
ごあいさつ	5
ご注意	5
付属品の確認	8
第1章 製品のご紹介	10
1.1 製品概要	10
1.2 使用環境について	12
1.3 各部の名称と機能	14
1.4 設置方向について	16
1.5 接続の前に	17
第2章 接続と取り外し方法	18
2.1 接続について	18
2.1.1 FireWire 接続の場合	18
2.1.2 USB 接続の場合	22
2.2 動作の確認	24
2.3 本製品の取り外しについて	25
第3章 ハードディスクのフォーマット	27
3.1 Windows XP, 2000 でのフォーマット手順	27
3.2 Windows Me でのフォーマット手順	28
3.3 Mac OS X でのフォーマット手順	29
3.4 Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 でのフォーマット手順	30
第4章 補足事項	34
4.1 Macintosh での起動ディスクの設定	34
4.2 オプション品について	36
4.3 トラブルシューティング	38
4.4 IEEE1394 機器の増設について	41
4.4.1 増設例	41
4.4.2 制限事項	42

取扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

表示について

- ・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示(マークなど)を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。



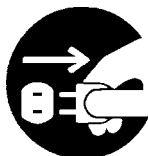
この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かの注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。

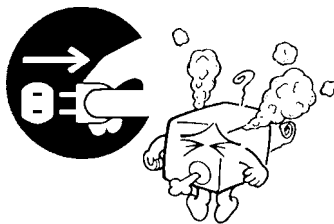


塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークはACアダプタをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

警告

万一、異常が発生したとき。

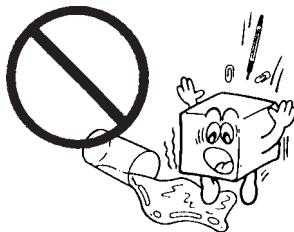
本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源コードをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



異物を入れないでください。

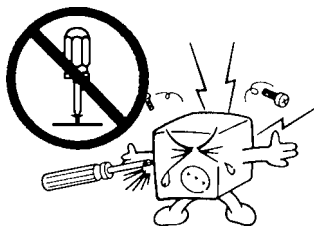
本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



分解しないでください。

ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



正しい電源で

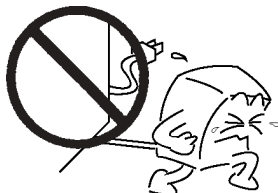
使用してください。

電源コードは必ずAC100Vのコンセントに接続してください。



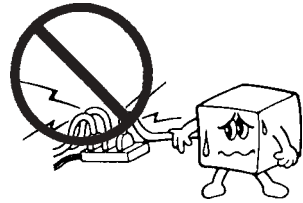
電源コードを大切に。

電源コードは破損しないように十分ご注意ください。コード部分を持って抜き差ししたり、コードの上にものを乗せると、被服が破れて感電/火災の原因となります。



⚠ 注意

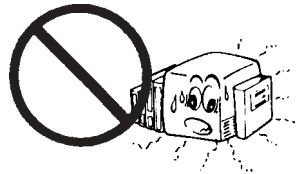
電源コードはなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。



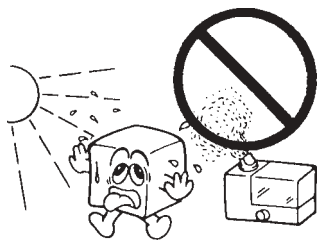
電源コードは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。



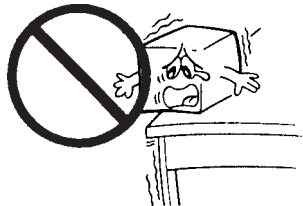
通風孔はふさがらないでください。過熱による火災、故障の原因となります。



高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。

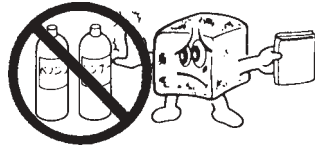


本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用 / 保管は避けてください。



注意

本体が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。(本体内に垂れ落ちるほど含ませないように気をつけてください。)揮発性の薬品(ベンジン・シンナーなど)を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。



本製品を長期間使用しない場合は、電源コードをコンセントから抜いておいてください。



パソコン及び周辺機器の廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意

ご利用の弊社製品を廃棄等される際には、以下の事項にご注意ください。

パソコン及び周辺機器を廃棄あるいは譲渡する際、ハードディスクに記録されたお客様のデータが再利用され、データが流出してしまうことがあります。

ハードディスクに記録されたデータは、「削除」や「フォーマット」を行っただけでは、データが消えたように見えるだけで、特殊なソフトウェアなどを使うことにより、消したはずのデータが再生されることがあります。

ハードディスク上のデータが第三者に流出することがないように全データの消去の対策をお願いいたします。

消去に関しては、データが完全に消去されるよう、市販の専用ソフトウェアもしくは、専門サービス会社などを利用することをお勧めします。

また、ハードディスク上のソフトウェアを消去することなくパソコン及び周辺機器を譲渡しますと、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますのでご注意ください。

ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は製品に関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、一 項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

本製品に保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようお願いいたします。

弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

* MS[®]、Windows[®]は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国での登録商標です。Macintosh、Mac OSは米国アップルコンピュータ社の登録商標です。本書に記載されているパソコンの機種名等は各社の商標または登録商標です。

当社 DOS/V 対応製品は、一般に市販されている製品を想定して設計されています。しかし、接続確認については全ての機種を確認することは不可能ですので、代表的な製品のみで確認を行っております。

そのため、本製品を使用できない、または本製品の機能を使用できないパソコンが一部に存在する可能性があることは、ご了解いただきますようお願いいたします。特に自作パソコンやショップ組立てパソコンでは、コストの問題やパフォーマンスの追求のため、想定外の部品が使用されている場合があります。このような場合、相性問題などが発生する可能性が高くなることをご承知おきください。

付属品の確認

HD ユニット	1 台
AC アダプタ	1 個
IEEE1394 ケーブル (Beta 9 ピン -Beta 9 ピン : 約 1.1m).....	1 本
IEEE1394 ケーブル (6 ピン -6 ピン : 約 1.1m).....	1 本
USB ケーブル (USB 2.0 High-Speed 対応 : 1m).....	1 本
縦置き用スタンド	1 セット
横置き用ゴム足	1 シート
ハードウェア仕様一覧表	1 枚
「LogitechWare」CD-ROM (B'sCrew FW を含む).....	1 枚
B's Crew FW ユーザー登録カード	1 枚
保証書	1 枚
HD ユニット・ユーザーズマニュアル	本書

本製品は電子精密機器です。輸送時には必ず付属の梱包材をご使用ください。



パソコン及び周辺機器の廃棄・譲渡時のハードディスク上の データ消去に関するご注意

ご利用の弊社製品を廃棄等される際には、以下の事項にご注意ください。

パソコン及び周辺機器を廃棄あるいは譲渡する際、ハードディスクに記録されたお客様のデータが再利用され、データが流出してしまうことがあります。

ハードディスクに記録されたデータは、「削除」や「フォーマット」を行っただけでは、データが消えたように見えるだけで、特殊なソフトウェアなどを使うことにより、消したはずのデータが再生されることがあります。

ハードディスク上のデータが第三者に流出することがないように全データの消去の対策をお願いいたします。

消去に関しては、データが完全に消去されるよう、市販の専用ソフトウェアもしくは、専門サービス会社などを利用することをお勧めします。

また、ハードディスク上のソフトウェアを消去することなくパソコン及び周辺機器を譲渡しますと、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますのでご注意ください。

第1章

製品のご紹介

1.1 製品概要

本製品はFireWire 800 (IEEE1394b) と FireWire400 (IEEE1394) および USB 2.0 の3種類のインターフェースに対応した外付型の高速ハードディスクユニットです。本製品の主な特徴は以下の通りです。

FireWire 800 (IEEE1394b) に対応

最大転送速度が800Mbps (理論値) の高速転送を可能にした FireWire 800 (IEEE1394b) 規格に対応していますので、同規格に対応したパソコンで使用すれば、ドライブの性能を最大限に引き出すことができます。また、従来の FireWire400 (IEEE1394)、USB 2.0 High-Speed 接続にも対応しています。

高速ドライブ採用

ディスク回転数7,200rpm、キャッシュメモリ8MB搭載の高速ドライブを採用しています。FireWire 800の高速データ転送性能とあいまって、快適なアクセスを実現しています。

一体型アルミボディ採用

外装には、堅牢で放熱効果に優れた一体型アルミボディを採用しています。アルミボディ表面にアルマイト処理を施していますので、汚れや傷もつきにくく、取扱いが容易です。一体型アルミボディは、押出し成形による筒型構造の外装ですので、小型/軽量でありながら、ゆがみ、たわみや振動に強い堅牢なボディを実現しています。

放熱性能に優れたアルミの採用により、連続動作時の信頼性が向上していますので、長時間の動作などでも安定して使用することができます。また、冷却ファン不要の静音設計を実現していますので、冷却ファンによる騒音の発生がありません。静かな環境での使用にも最適です。

コンパクトサイズを実現

幅35mm × 高さ160mm × 奥行き215mm、質量1Kg と、コンパクトサイズを実現しています。B6サイズほどの大きさですので、場所を取らず設置場所を選ばません。縦置き、横置きが可能で、縦置き用の専用スタンドも付属しています。

フォーマット済み (FAT32)

HDドライブを「フォーマット (FAT32) した状態で出荷」しますので、導入時に時間のかかるフォーマットを行う必要がありません。接続すればマイコンピュータやデスクトップにドライブアイコンが表示されますので、すぐにアクセスすることができます。(Mac OS Xの環境は除きます。)

FireWire 接続でご使用の際は、Mac OS 9.0.4 以降の環境で、「起動ドライブ」として使用することが可能です。()

ただし本製品を使用可能な Macintosh マシンのうち「Power Mac G4 (PCI Graphics)」「Power Macintosh G3 Blue and White」では起動ドライブに設定することはできません。

また、モデルによってはファームウェアアップデートを行う必要がある場合があります。詳しくは「4.1 Macintosh での起動ディスクの設定」をご参照ください。



重要なご注意

- ・ 本製品を複数のパソコンに同時に接続して使用することはできません。また、本製品の FireWire800/FireWire400 ポートと USB ポートを両方同時に接続することはできません。
 - ・ 本製品はバスパワーでは動作しません。ご使用の際は、必ず電源コードを AC100V のコンセントに接続して電源を供給してください。
 - ・ 本製品はスリープモード、サスペンドモードなどのような省電力モードには対応していません。
-



参考

- ・ アルミボディは熱の伝導性が高いため、本製品の動作中にボディ表面に触れると熱く感じる場合がありますが、これは異常ではありません。
 - ・ IEEE1394 はメーカーによって「FireWire」、もしくは「i.LINK」などと呼ばれています。
-

1 . 2 使用環境について

1

本製品を使用する際、接続に使用するインターフェースに関わらず、本製品が対応する OS はすべて日本語版に限定されます。

FireWire800 ポートに接続する場合

対応パソコン

DOS/V パソコン

PC98-NX シリーズ

Macintosh シリーズ

PowerMac G5

PowerMac G4

PowerMacintosh G3 (Blue & White)

PowerBook G4

PowerBook (FireWire)

PowerBook G3 (BronzeKeyboard)

FireWire800 (IEEE1394b) ポートを標準搭載、または FireWire800 (IEEE1394b) 対応 I/F ボードを増設していることが必要です。

対応 OS

Windows XP Home Edition/Professional

Windows 2000 Professional

Mac OS X 10.2.3 以降

FireWire400 ポートに接続する場合

対応パソコン

DOS/V パソコン

PC98-NX シリーズ

Macintosh シリーズ

iMac eMac iBook PowerMac G5 PowerMac G4

PowerMacintosh G3 (Blue & White) PowerBook G4

PowerBook (FireWire)

PowerBook G3 (BronzeKeyboard)

FireWire400 (IEEE1394) ポートを標準搭載、または FireWire400 (IEEE1394) 対応 I/F ボードを増設していることが必要です。

対応 OS

Windows XP Home Edition/Professional

Windows Me

Windows 2000 Professional

Mac OS X 10.0.4 以降

Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 (*)

*Mac OS 9 以降で FireWire 2.3.3 以上を導入した環境を推奨



ご注意

パソコン側の IEEE1394 ポートが 4 ピンの場合には、別売の 6 ピン - 4 ピンコネクタを持つ IEEE1394 ケーブルが必要です。詳しくは「4.2 オプション品について」をご参照ください。

USB ポートに接続する場合

対応パソコン

DOS/V パソコン

PC98-NX シリーズ

Macintosh シリーズ

iMac eMac iBook PowerMac G5 PowerMac G4

PowerMacintosh G3 (Blue & White) PowerBook G4

PowerBook (FireWire) PowerBook G3 (BronzeKeyboard)

USB 2.0 または USB 1.1 ポート搭載機種に限ります。USB 2.0 High-Speed での動作には、USB 2.0 High-Speed 対応ポートを標準搭載、または USB 2.0 High-Speed 対応 I/F ボードを増設している必要があります。

対応 OS

Windows XP Home Edition/Professional

Windows Me

Windows 2000 Professional

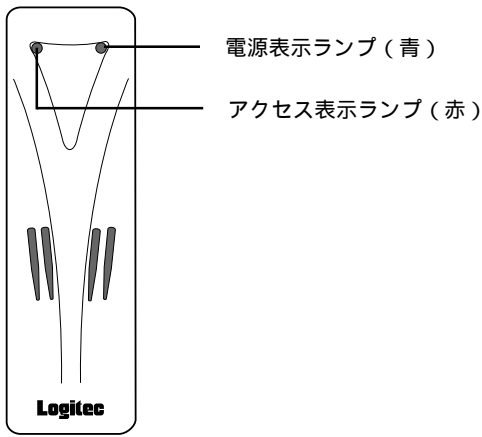
Mac OS X 10.0.4 以降

Mac OS 9.0.4 ~ 9.2.2

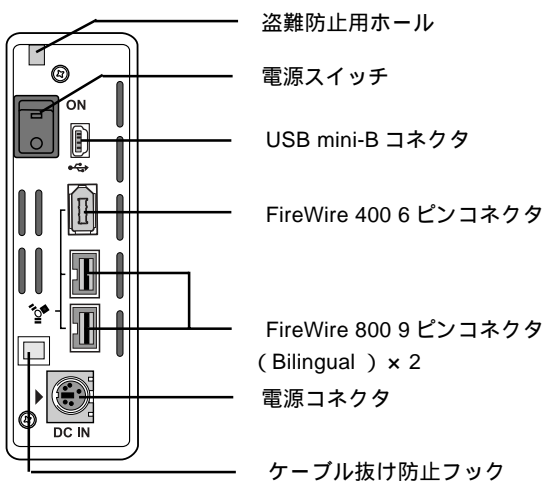
1 . 3 各部の名称と機能

1

本製品前面



本製品背面



電源表示ランプ（青）

本製品の電源が ON になると内部のランプ（青）が点灯します。

アクセス表示ランプ（赤）

本製品に対してアクセスが行われると内部のランプ（赤）が点灯します。

盗難防止用ホール

盗難防止用にワイヤなどを取り付けておくことができます。

電源スイッチ

本製品の電源を ON/OFF します。

USB mini-B コネクタ

本製品を USB インターフェースに接続する場合に付属の USB ケーブルでパソコン本体の USB ポートと接続します。

FireWire 400 6 ピンコネクタ

本製品を FireWire 400 インターフェースに接続する場合に、付属の IEEE1394 ケーブル（6 ピン - 6 ピン）を使用してパソコン本体の FireWire 400 ポートと接続します。パソコン本体の FireWire 400 インターフェースが 4 ピンの場合は、別途 6 ピン-4 ピンタイプの IEEE1394 ケーブルをご用意ください。

FireWire 800 9 ピンコネクタ（Bilingual）× 2

本製品を FireWire 800 インターフェースに接続する場合に、どちらか片方を、付属の IEEE1394 ケーブル（Beta 9 ピン - Beta 9 ピン）でパソコン本体の FireWire 800 ポートと接続します。

パソコン本体との接続に使用しなかったコネクタは IEEE1394 機器を増設するときに使用します。

本製品のコネクタは Bilingual 9 ピンタイプとなっていますので、Beta 9 ピン、Bilingual 9 ピンいずれのタイプのものも接続できます。

Point

ポイント

本製品の IEEE1394 コネクタは 3 個（FireWire 800 × 2、FireWire 400 × 1）あります。このコネクタのうち 1 つをパソコンに接続し、残りの 2 つのコネクタに IEEE1394 機器を増設して使用することもできます。詳しくは「4.4 IEEE1394 機器の増設について」をご参照ください。

電源コネクタ

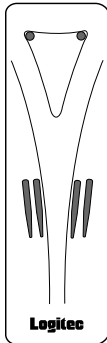
付属の AC アダプタを使用して AC100V のコンセントに接続します。

ケーブル抜け防止フック

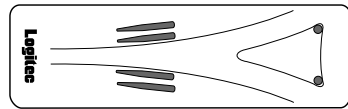
AC アダプタのケーブルがコネクタから外れるのを防止するためのフックです。

1 . 4 設置方向について

本製品は縦置き、横置きのどちらでも使用することができますが、それぞれ以下のような方向で設置してください。間違った方向で設置するとトラブルの原因となる場合があります。

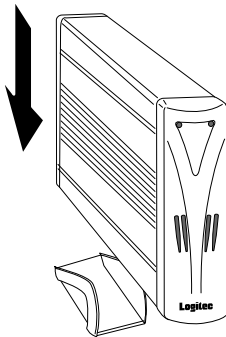


縦置きの場合

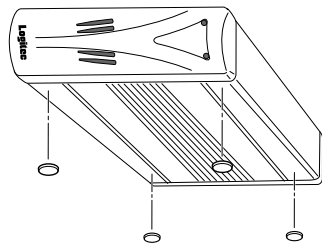


横置きの場合

縦置きの場合は、本製品付属のスタンドをご使用ください。(下左図)横置きの場合は、底面の4箇所付属のゴム足を貼付けしてください。(下右図)



縦置き用スタンド



横置き用ゴム足

1.5 接続の前に

本製品の出荷時フォーマット形式についてのご注意

本製品は出荷時にDOS (FAT32) 形式でフォーマットされていますので、パソコンに接続すればすぐにアクセスすることができますが(Macintoshの環境を除く) なるべく各OSに最適なフォーマット形式で再フォーマットすることをお勧めします。

本製品をWindows XP、2000のみでご使用になる場合、NTFS形式でフォーマットしてください。

本製品をWindows Meでご使用になる場合は、そのまま使用可能です。

本製品をMacintoshのみでご使用になる場合は、HFS+ (Mac OS 拡張) で初期化してください。

Windows と Macintosh の両環境で共有したい場合はDOS (FAT32) 形式で1パーティションの容量を120GB以下にしてください。(ただし、Mac OS X 10.0.4 ~ 10.1.5では共有できません)

DOS形式でフォーマットされたハードディスクをMacintoshでアクセスするにはMacintosh標準のユーティリティ「File Exchange」が必要です。(Mac OS X 10.0.4 ~ 10.1.5は未対応です。)

Macintosh環境に接続したハードディスクをWindows環境に再接続して、スキャンディスク (Windows標準の検査ユーティリティ) を実行すると、必ずエラーが報告されます。このエラーは使用上問題ないものですが、これを「修復」するとMacintosh環境で致命的なエラーが発生する場合がありますので、絶対にスキャンディスクでの「修復」は行わないでください。

Windows / Macintosh間でのデータ交換は、あくまで一時的なデータ移動のみに留めておいてください。MacOS本来のファイルシステムでないディスクにアクセスするため、恒久的な保存用途には適していません。また、データ以外のアプリケーションなどをこのディスクに保存することは行わないでください。

第2章 接続と取り外し方法

本章では本製品の接続と取り外し方法についてご説明します。

2.1 接続について

ここでは、FireWire 接続で使用する場合の手順と、USB 接続で使用する場合の手順を順番にご説明します。

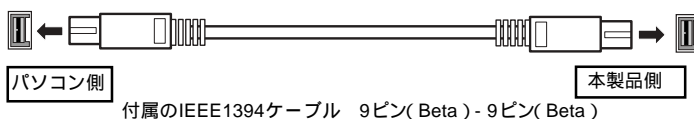
2.1.1 FireWire 接続の場合

接続に使用するケーブルについて

接続を行う際は、接続先のパソコンのFireWireポートの形状により、以下のIEEE1394ケーブルをご使用ください。

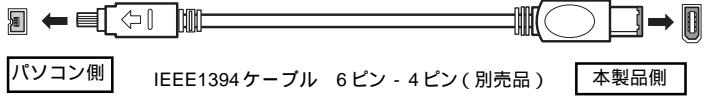
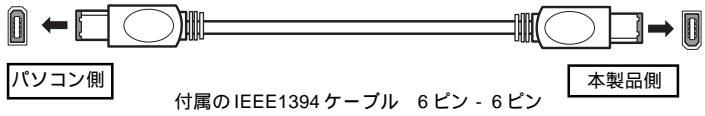
FireWire800 (IEEE1394b) 接続で使用する場合

- ・付属の9ピン (Beta) - 9ピン (Beta) IEEE1394ケーブルを使用して接続を行います。



FireWire400 (IEEE1394) 接続で使用する場合

- ・接続先のパソコンのポートが6ピンの場合は、付属の6ピン - 6ピンのIEEE1394ケーブルを使用して接続を行います。
- ・接続先のパソコンのポートが4ピンの場合は、別売の6ピン - 4ピンのIEEE1394ケーブルを使用して接続を行います。



9ピン(Bilingual) - 6ピン、9ピン(Bilingual) - 4ピン、ケーブルを使用して、本製品の9ピンコネクタと、FireWire400(IEEE1394)機器を接続することもできます。

Point

ポイント

弊社では、上でご紹介したIEEE1394ケーブルをオプション品として取り扱っております。弊社製IEEE1394ケーブルにつきましては「4.2 オプション品について」をご参照ください。

2.1 接続について

2.1.1 FireWire 接続の場合

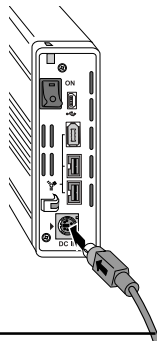
接続の手順



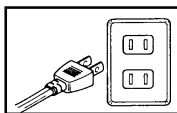
Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 で本製品をご使用の場合は、本製品の接続を行う前に「第3章 ハードディスクのフォーマット」を参照してフォーマットソフトウェアをインストールしておいてください。

パソコンの電源を ON にしてシステムを起動してください。
このとき Windows XP、2000 をご使用の場合は管理者権限をもつユーザー（例えば「コンピュータの管理者」や「Administrator」グループ等）としてログオンしてください。

本製品背面の電源コネクタに AC アダプタを接続し、電源プラグを AC100V のコンセントに接続します。接続後、背面の電源スイッチを ON にしてください。前面の電源表示ランプが青色に点灯します。



AC100V のコンセントへ



ご注意

接続の際には、必ず最初に電源を ON にしてください。本製品に電源が供給されていない状態で接続を行うとトラブルが発生する場合があります。

本製品に IEEE1394 ケーブルを接続します。

FireWire800 (IEEE1394b) 接続でご使用の場合

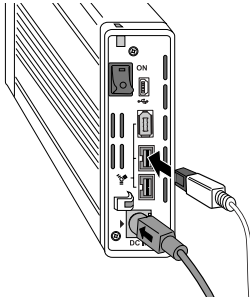
- ・付属の 9 ピン (Beta) - 9 ピン (Beta) IEEE1394 ケーブルをご使用ください。

FireWire400 (IEEE1394) 接続でご使用の場合

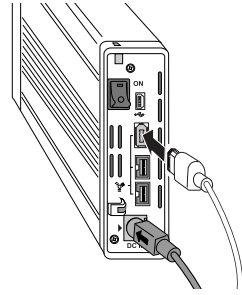
- ・接続先のパソコンの FireWire 400 ポートが 6 ピンの場合は、付属の 6 ピン - 6 ピンの IEEE1394 ケーブルをご使用ください。
- ・接続先のパソコンのポートが 4 ピンの場合は別売の 6 ピン - 4 ピンの IEEE1394 ケーブルをご使用ください。



ここで使用しないコネクタは、IEEE1394 機器の増設の際に使用可能です。詳しくは「4.4 IEEE1394 機器の増設について」をご参照ください。

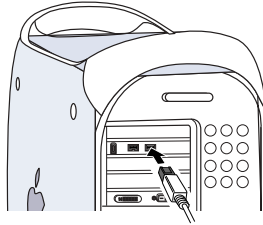
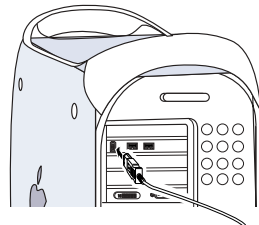


9ピンコネクタへの接続図



6ピンコネクタへの接続図

IEEE1394 ケーブルのもう片方のコネクタをパソコン本体の FireWire ポートに接続します。

9ピンのポートに接続
する場合の例6ピンのポートに接続
する場合の例

以上で接続は終了です。この後の作業はOS毎に異なります。以下をご参照ください。

接続後の作業

Windows XP、Me、2000には本製品をIEEE 1394インターフェースで使用するためのドライバが標準添付されています。そのため、本製品を接続すると自動的に、ドライバがインストールされます。結果を確認しますので「2.2 動作の確認」へお進みください。

Macintosh環境でご使用の場合は本製品のフォーマットを行う必要があります。第3章のフォーマット手順をご参照ください。

上のパソコンの図はMacintoshパソコンを元にしていますが、FireWireポートの位置はパソコンによって異なります。ご使用のパソコンのFireWireポートを確認して接続してください。

2.1.2 USB 接続の場合

確認事項

接続先のパソコンに USB 2.0 ポートがある場合はそちらに接続してください。

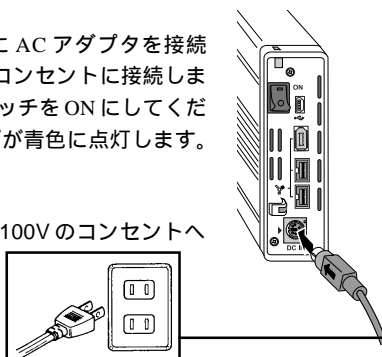
USB 2.0 ポートがない場合、USB 1.1 ポートへ接続してください。その場合の転送速度は Full-Speed (12Mbps) までとなります。

接続の手順

パソコン本体の電源を ON にしてシステムを起動してください。このとき Windows XP, 2000 をご使用の場合は管理者権限をもつユーザー（例えば「コンピュータの管理者」や「Administrator」等）としてログオンしてください。

本製品背面の電源コネクタに AC アダプタを接続し、電源プラグを AC100V のコンセントに接続します。接続後、背面の電源スイッチを ON にしてください。前面の電源表示ランプが青色に点灯します。

AC100V のコンセントへ

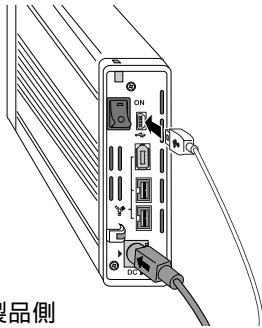


ご注意

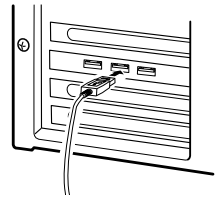
接続の際には、必ず最初に電源を ON にしてください。本製品に電源が供給されていない状態で接続を行うとトラブルが発生する場合があります。

付属の USB ケーブルで本製品の USB mini-B コネクタと、パソコン側の USB ポートを接続してください。

下のパソコンの図はDOS/Vパソコンを元にしていますが、USBポートの位置はパソコンによって異なります。ご使用のパソコンのUSBポートの位置を確認して接続してください。)



本製品側
小さい方のコネクタ



パソコン本体側の例
大きい方のコネクタ



重要なお注意

- ・本製品を USB 2.0 ポートへ接続する際は、ケーブルは必ず本製品付属のものか、USB 2.0 対応ケーブルを使用してください。USB 1.1 用ケーブルで USB 2.0 ポートに接続して本製品を使用すると、データの書き込みエラーなどの障害が発生します。
- ・USB 1.1 ポートへ接続して使用する際もなるべく USB 2.0 対応ケーブルをご使用ください。

以上で接続は終了です。

この後の作業は OS 毎に異なります。以下をご参照ください。

接続後の作業

Windows XP, Me, 2000 には本製品を USB インターフェイスで使用するためのドライバが標準添付されています。そのため、本製品を接続すると自動的に、ドライバがインストールされます。結果を確認しますので「2.2 動作の確認」へお進みください。

Macintosh 環境でご使用の場合は本製品のフォーマットを行う必要があります。第3章のフォーマット手順をご参照ください

2 . 2 動作の確認

接続が終了し、必要な作業を行ったら、本製品が正常に認識されているかを確認します。

Windows XP の場合



「スタート」ボタン 「マイコンピュータ」をクリックします。マイコンピュータに左のようなハードディスクドライブのアイコンが追加されていれば本製品は正常に認識され、使用可能な状態にあります。

Windows Me , 2000 の場合



デスクトップの「マイコンピュータ」のアイコンをクリックします。左のようなハードディスクのアイコンが追加されていれば本製品は正常に認識され、使用可能な状態にあります。(アイコンに付く名前は OS により異なります。)

Mac OS の場合

デスクトップに以下のようなアイコンがマウントされていれば本製品は正常に認識され使用可能な状態にあります。



Mac OS X 10.0.4
以降



Mac OS 9.2.2まで

2.3 本製品の取り外しについて

本製品はホットプラグ(パソコンの電源がONの状態での取り付け、取り外し)が可能です。取り外しは以下の手順で行います。

Windows 環境の場合

本製品に保存されたアプリケーションやデータファイルが開いていないことを確認します。

タスクトレイ上の以下のアイコンをクリックします。



表示されるメッセージをクリックします。このメッセージは、接続形態・使用OS毎に異なります。以下をご参照ください。

FireWire 接続の場合に表示されるメッセージ

Windows XP

- ・「LOGITEC LHD IEEE 1394 SBP2 Device を安全に取り出します」

Windows Me

- ・「IEEE1394 ディスク - ドライブ (d:) の停止」

Windows 2000

- ・「LOGITEC LHD IEEE 1394 SBP2 Device- ドライブ (D:) を停止します」

表示されるメッセージは、FireWire 800、FireWire 400いずれの場合でも、全く同じです。

USB 接続の場合に表示されるメッセージ

Windows XP

- ・「USB 大容量記憶装置デバイス ドライブ (d:) を安全に取り外します」

Windows Me の場合

- ・「USB ディスク - ドライブ (d:) の停止」

Windows 2000 の場合

- ・「USB 大容量記憶装置デバイス ドライブ (d:) を停止します」

Point

ポイント

- ・ここで (d:) または (D:) は本製品のドライブ名ですので、環境によって異なります。

Windows XPでは本製品を取り外すことのできる旨のメッセージが表示されたら取り外しが可能となります。(このメッセージはしばらくすると自動的に消えますので特に操作する必要はありません。)

Windows Me ,2000でも本製品を取り外すことのできる旨のメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。

接続に使用しているケーブルをパソコン本体と本製品より取り外し、本製品の電源をOFFにして、電源コードをAC100Vのコンセントから抜いておきます。

以上で取り外し作業は終了です。

Macintosh 環境の場合

本製品を取り外す前に必ずアンマウントという処理を行います。アンマウントは以下のいずれかの方法で行います。

- ・本製品のアイコンをゴミ箱のアイコンに重ねる。
- ・本製品のアイコンを1回クリックして選択状態にし、「ファイル」メニューから「片付ける」を選択する。
- ・本製品のアイコンを1回クリックして選択状態にし、アップルキー + 「Y」キーを押す。

パソコン本体がスリープ状態になっているときは、取り外しを行わないでください。

本製品に保存されているアプリケーションやデータファイルが開かれていないことを確認してください。

第3章

ハードディスクの フォーマット

本章では、各 OS ごとにハードディスクのフォーマット手順をご説明いたします。フォーマットを行うと、ハードディスクの中のデータはすべて消去されます。重要なデータはあらかじめバックアップをとっておいてください。

3.1 Windows XP, 2000 でのフォーマット手順

(共通)

Windows XP, 2000 では各 OS に標準のユーティリティ「ディスク管理」から行います。

ディスク管理を起動するには管理者権限をもつユーザー(例えば「コンピュータの管理者」や「Administrator」)としてログオンした後に、「マイコンピュータ」を右クリックし、表示されるメニューから「管理」を選択します。

「コンピュータの管理」ウィンドウが表示されるので、コンソールツリー上で「ディスクの管理」をクリックしてください。(ここで「ディスクのアップグレードと署名ウィザード」が起動した場合は、キャンセルボタンをクリックしてください。)

「ディスク管理」からのフォーマット方法については Windows のヘルプファイルをご参照ください。

Point

ポイント

本製品付属の CD-ROM に保存された補足説明ファイルには、より詳細なフォーマット手順が記載されています。必要に応じてご参照ください。(下記のファイルをダブルクリックするとブラウザ上で内容を表示することができます。)

- | | |
|----------------|-------------------|
| ・ Windows XP | ¥Docs¥Hdfmtxp.htm |
| ・ Windows 2000 | ¥Docs¥Hdfmt2k.htm |

3 . 2 Windows Me でのフォーマット手順

(共通)

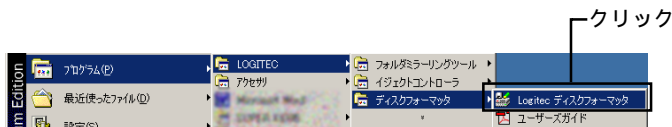
Windows Me、98 の場合、本製品のフォーマットは付属のユーティリティ「Logitec ディスクフォーマッタ」で行います。

本製品付属の「LogitecWare」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットすると自動起動する「セットアップランチャー」から、「ディスクフォーマッタ」をインストールしてください。

1. 「ディスクフォーマッタ」のアイコンをクリックして、選択状態にします。
2. 「セットアップの起動」をクリックします。



インストールが終了したら、ディスクフォーマッタを起動します。タスクバー上の「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから、「プログラム」「Logitec」「ディスクフォーマッタ」とポイントして、「Logitec ディスクフォーマッタ」をクリックしてください。(デフォルトの状態ではインストールした場合は)



ディスクフォーマッタが起動したら、本製品のフォーマットを行います。フォーマットの手順については「ディスクフォーマッタ」のユーザーズガイドをご参照ください。



ご注意

本製品は物理フォーマットをサポートしていないため、ディスクフォーマッタの物理フォーマットに関する機能は使用できません。

3.3 Mac OS Xでのフォーマット手順

(共通)

Mac OS X 10.0.4 ~ 10.1.5 で本製品をはじめて接続してフォーマットする場合

Mac OS X 10.0.4 ~ 10.1.5 の場合、本製品を初めて接続すると「今セットしたディスクは Mac OS X で読み込めないボリュームが含まれています。」というメッセージウィンドウが表示されます。ウィンドウ下部にある「初期化」ボタンをクリックしてください。

「Disk Utility」が起動します。

後の手順は Mac OS X のヘルプを参照して初期化を行ってください。

Mac OS X 10.2 以降の場合

本製品は出荷時DOS (FAT32)形式でフォーマットされていますが、下の「本製品を再フォーマットする場合」を参照して、Mac OS 拡張にて再フォーマットを行ってください。

120GB を越える容量の本製品の場合、接続しても容量制限の問題からマウントされません。この場合も再フォーマットを実行してください。

ポイント

Point

Mac OS でフォーマット (初期化) する場合は必ず Mac OS 拡張を選択するようにしてください。「Mac OS 標準」は旧 Mac と互換性を持ったフォーマット形式ですが、大容量ハードディスクのフォーマットには適していません。

本製品を再フォーマットする場合

Mac OS X 10.1.5 までの場合、本製品を再フォーマットする場合も「Disk Utility」を使用します。「Disk Utility」を起動するにはメニューバーの「移動」から「アプリケーション」を選択して「Application」「Utilities」「Disk Utility」を選択してください。

Mac OS X 10.2 以降の場合は「ディスクユーティリティ」を使用します。「ディスクユーティリティ」を起動するにはメニューバーの「移動」から「アプリケーション」を選択して「アプリケーション」「ユーティリティ」「ディスクユーティリティ」を選択してください。

フォーマットが終了すると、デスクトップ上にハードディスクのアイコンがマウントされます。(「2.2 動作の確認」参照)

3 . 4 Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 でのフォーマット手順

ご使用のOSがMac OS 8.6 ~ 9.2.2の場合は、接続するインターフェースにより、フォーマット方法が異なります。該当する部分をご参照ください。

FireWire 接続の場合

Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 で FireWire 接続時にフォーマットを行うためには、付属の CD-ROM よりフォーマッタソフトウェア「B'sCrew FW」をインストールします。

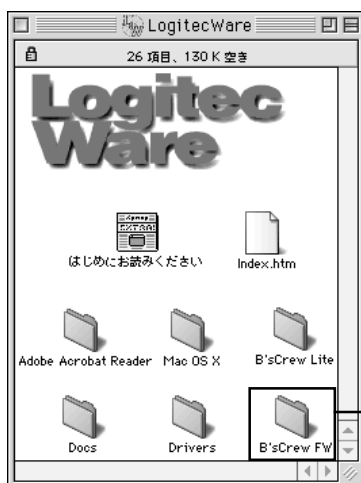
フォーマッタインストール手順

インストールの前に本製品を接続している場合はいったん取り外してください。インストール後にコンピュータの再起動を行うので、起動しているアプリケーションを全て閉じておいてください、

Macintosh のシステムを起動してください。

本製品付属の「LogitechWare」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしてください。

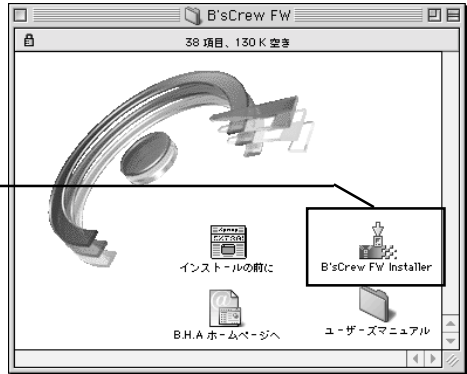
CD-ROM のウィンドウが開きますので、「B'sCrew FW」フォルダをダブルクリックして開いてください。



「B'sCrew FW」フォルダを
ダブルクリック

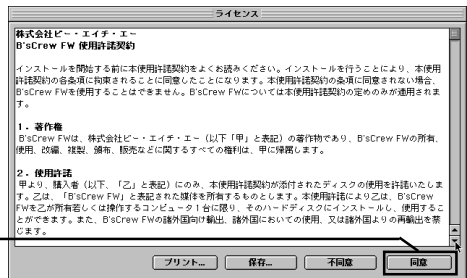
右の画面が表示されますので、「B'sCrew FW Installer」のアイコンをダブルクリックしてください。

このアイコンをダブルクリック



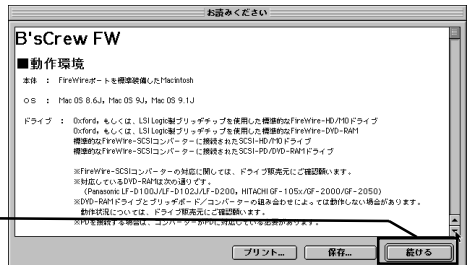
使用許諾等が表示されます。

内容を確認して、同意する場合は「同意」をクリック



注意事項等が表示されます。

内容を確認して「続ける」をクリック



右のウィンドウが表示されます。

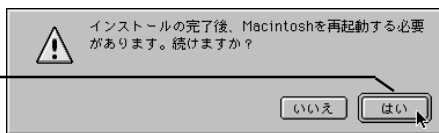
「インストール」をクリック



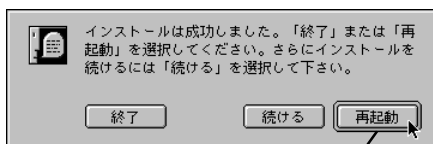
FireWire 接続の場合

インストールの最後にシステムが再起動されるため、確認メッセージが表示されます。

他のプログラムなどが起動していないことを確認したら、「はい」をクリック



必要なファイルが転送されます。終了すると下のウィンドウが表示されます。



「再起動」をクリック

コンピュータが再起動したらインストールは終了です。

フォーマット方法について

フォーマット方法については「B'sCrew FW」のユーザーズマニュアルをご参照ください。ユーザーズマニュアルを参照するには「B'sCrew FW」フォルダ内の「ユーザーズマニュアル」フォルダにある「B'sCrew FW Users Manual」(PDF形式)をダブルクリックして開いてください。



このアイコンをダブルクリックするとユーザーズマニュアルが表示されます。

フォーマットが終了すると、デスクトップ上にハードディスクのアイコンがマウントされます。(「2.2 動作の確認」参照)

USB 接続の場合

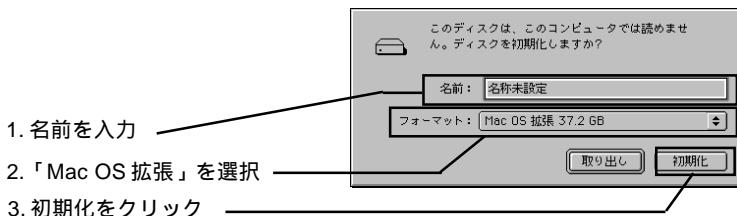
(Mac OS 9.0.4 ~ 9.2.2 のみ)

USB 接続で本製品のフォーマットを行う場合、以下の手順をご参照ください。

「アップルメニュー」から「コントロールパネル」 「機能拡張マネージャ」を開き、「File Exchange」を「停止」してコンピュータを再起動してください。

パソコンが再起動すると「このディスクはこのコンピュータでは読めません。ディスクを初期化しますか?」というメッセージとともに初期化のウィンドウが表示されます。(下図参照)

ここで、必要に応じて名前を入力し、フォーマット形式に「Mac OS 拡張」を選択し、初期化ボタンをクリックします。



Point

ポイント

フォーマット形式は「Mac OS 拡張」を推奨します。「Mac OS 標準」は旧バージョンの Mac OS と互換性を持ったフォーマット形式ですが、大容量ハードディスクのフォーマットには適していません。

参考

参考

デスクトップ上の本製品のドライブアイコンをクリックし「特別」から「ディスクの初期化」をクリックしても、フォーマットを行うことは可能ですが、この方法で初期化を行う場合、フォーマット形式の変更はできません。いったん、Mac OS 拡張でフォーマット後に、再フォーマットを行う場合などにご使用ください。

第4章 補足事項

4.1 Macintosh での起動ディスクの設定

(FireWire 接続時のみ)

Macintosh 環境で FireWire 接続にてご使用の場合、本製品を起動ディスクとして使用することができます。ここではその設定方法についてご説明いたします。(ただし、ご使用の OS が Mac OS 8.6 の場合は OS の仕様により起動ディスクの設定は行えません。)

以下のモデルではパソコン側の仕様により起動ディスクに設定することができません。

- Power Mac G4 (PCI Graphics)
- Power Macintosh G3 Blue and White

以下のモデルで起動ディスクとして使用する場合、パソコン本体のファームウェアのバージョンを「2.4」以上にする必要があります。詳細は、アップルコンピュータ社の Web サイトをご参照ください。

- iMac DV
- Power Mac G4 (AGP Graphics)
- PowerBook (FireWire)

設定方法

Mac OS 9.0.4 ~ 9.2.2 までの場合

アップルメニューから「コントロールパネル」を選択し「起動ディスク」を選択してください。

本製品のシステムフォルダをクリックして選択状態にして、「再起動」ボタンをクリックしてください。

Mac OS X の場合

アップルメニューから「システム環境設定」を選択し「起動ディスク」をダブルクリックして開いてください。

本製品のシステムフォルダをクリックして選択状態にして、「再起動」ボタンをクリックしてください。



ご注意

- ・本製品を起動ディスクに設定する場合は、直接 Macintosh マシンに接続してください。ハブ経由での接続では動作が不安定になる可能性があります。
 - ・インストールの際は必ずハードディスクをMac OS 拡張にてフォーマットしてください。本製品の出荷時フォーマットである「DOS」フォーマットや「Mac OS 標準」フォーマットではシステムが正しく起動しない場合があります。これらのフォーマットでの使用はサポート対象外とさせていただきます。
 - ・本製品を起動ディスクに設定する場合は、必ず Mac OS 9.x または Mac OS X のインストール CD-ROM から本製品へシステムをインストールしてください。他の起動ディスクからシステムのコピーを行った場合、本製品を起動ディスクとしてご使用になれません。
 - ・システム起動中に絶対にIEEE1394ケーブルまたは電源コードを抜かないでください。
-

4 . 2 オプション品について

弊社ではインターフェースボードやケーブル類を別売のオプション品として取り扱っております。オプション品のお求めは、お買い求めいただいた販売店またはロジテックの安心オンラインショップ「ロジテックダイレクト」にてお求め下さい。

ロジテックダイレクトホームページ

<http://www.logitec-direct.jp/>

インターフェースボード

パソコン本体に IEEE1394 ポートまたは USB 2.0 ポートがない場合は、以下のインターフェースボード（PCIバス用インターフェースボードもしくは CardBus 対応インターフェースカード）をご使用ください。

PCIバス用 FireWire 800 (IEEE1394b) インターフェースボード

型番	バス	備考
LHA - FW801	PCI	インターフェースボード単体 Windows XP, 2000, Mac OS X 10.2.4以降対応

PCIバス用 IEEE1394 (FireWire 400) インターフェースボード

型番	バス	備考
LHA - 1394V	PCI	インターフェースボード単体 Windows XP, Me, 98 SE, 2000対応

CardBus対応 IEEE1394 (FireWire400) インターフェースカード

型番	バス	備考
LPM - CB 1394L	CardBus	インターフェースカード単体 Windows XP, Me, 98 SE, 2000 Mac OS 9.0 ~ 9.2.2 Mac OS X 10.1.3 以降対応

PCIバス用USB 2.0 インターフェイスボード

型番	バス	備考
LHA-USB2NH	PCI	インターフェイスボード単体 Windows、Mac OS X 10.2.8以降対応
LHA-USB2/M	PCI	インターフェイスボード単体 Windows、Mac OS X 10.2以降対応

CardBus対応USB 2.0 インターフェースカード

型番	バス	備考
LPM-CBUSB2HA	CardBus	インターフェースカード単体 Windows、Mac OS X 10.3以降対応

IEEE1394 ケーブル

型番	長さ	備考
CB-I96-011	1.1 m	9ピン (Bilingual) - 6ピン
CB-I96-006	0.6 m	
CB-I94-011	1.1 m	9ピン (Bilingual) - 4ピン
CB-I94-006	0.6 m	

型番	長さ	備考
CB-I66-021S	2.1 m	6ピン - 6ピン
CB-I66-011S	1.1 m	
CB-I66-006S	0.6 m	
CB-I64-021S	2.1 m	6ピン - 4ピン
CB-I64-011S	1.1 m	
CB-I64-006S	0.6 m	

型番	長さ	備考
CB-IBB-011	1.1 m	9ピン (Beta) - 9ピン (Beta)

4 . 3 トラブルシューティング

本製品を接続したが認識されない。

電源スイッチの状態、電源コードを接続したコンセントの状態を確認してください。

ケーブルの接続に接触不良などがないかどうか確認してください。

ドライバは正しい手順でインストールされていますか？

本製品をハブ経由で接続している場合は、パソコンのポートに本製品だけを直接接続して試してみてください。

ご使用のOSによって使用（認識）できるファイルシステムとパーティションの容量に制限があります。以下の表で、接続先のパソコンに搭載されているOSが本製品のファイルシステムを使用可能かどうかご確認ください。

OS	ファイルシステム		
	NTFS	FAT32	HFS
Windows Me	×		×
Windows XP		*1	×
Windows 2000		*1	×
Mac OS	×	*2	

*1Windows XP、2000上でフォーマットする場合、32GBまでしか確保できません。（Windows Me、98 Second Edition上でフォーマット済みのものはそのまま認識できます。）

*2Mac OS X 10.2以降の場合、120GBまでしか認識されません。また、Mac OS X 10.0.4～10.1.5の場合、FAT32形式は認識されません。

本製品からシステム起動ができない。

本製品はMac OS 9.0.4以降の環境でIEEE1394接続時の場合以外は、システムを起動することはできません。また、上記の環境でご使用の場合も、起動ディスクに設定するには、いくつか条件がございます。詳しくは「4 . 1 Macintoshでの起動ディスクの設定」をご参照ください。

本製品がFireWire 400 機器として動作しない。

FireWire 800 のインターフェースをもつ Windows 搭載のパソコンと本製品の6ピンコネクタを接続した場合、本製品は正常に動作しません。9ピン (Bilingual) コネクタに接続し、FireWire 800 機器としてご使用ください。

Windows XP,2000で「ディスクの管理」が起動できない。

「ディスクの管理」を起動するには、管理者権限を持つユーザー(例えば「コンピュータの管理者」や「Administrator」)としてログインしていなければなりません。

省電力モードから復帰できない。

本製品は省電力機能には対応しておりません。以下の手順にて省電力機能をOFFにしてご使用ください。

- ・ Windows Me で省電力機能をOFFにするには、「コントロールパネル」「電源の管理」を起動します。「電源設定」のウィンドウが表示されたら、「システムスタンバイ」を「なし」にして、OK ボタンをクリックしてください。
- ・ Windows 2000 で省電力機能をOFFにするには、「コントロールパネル」「電源オプション」を起動します。「電源設定」のウィンドウが表示されたら、「システムスタンバイ」を「なし」にして、OK ボタンをクリックしてください。
- ・ Windows XPで省電力機能をOFFにするには、「コントロールパネル」「パフォーマンスとメンテナンス」「電源オプション」を起動します。「電源設定」のウィンドウが表示されたら、「システムスタンバイ」を「なし」にして、OK ボタンをクリックしてください。
- ・ Mac OS Xで省電力機能をOFFにするには、「アップル」メニューから「システム環境設定」をクリックし、「システム環境設定」画面で「省エネルギー」をクリックし「省エネルギー」画面で「スリープ」タブを選択して、「スリープするまでの静止している時間」を「しない」に設定してください。

本製品の物理フォーマットができない。

本製品は物理フォーマットをサポートしていません。論理フォーマット(通常のフォーマット)のみでご使用ください。

USB 接続時にデータの転送速度が遅い。

USB 2.0 のポートに正しく接続されていますか。

USB 1.1 のポートに接続されている場合、データの転送速度は Full-Speed(12Mbps) までとなります。High-Speed (480Mbps) でデータ転送を行うには USB 2.0 ポートにつなぎかえてください。

パソコン本体に USB 2.0 ポートがない場合は別売りの USB 2.0 インターフェイスボード (PCI 用インターフェイスボード、もしくは CardBus 対応 USB 2.0 インターフェイスカード) を接続してドライバのインストールを行ってから、接続しなおしてみてください。

特定のソフトウェア (ディスク修復ツールなど) で

本製品を使用できない。

一部のユーティリティソフトウェアでは、USB のようなホットプラグ対応のインターフェイスで接続したハードディスクを動作対象としていない場合があります。ソフトウェアメーカーに問い合わせ、そのソフトウェアが USB 接続のハードディスクを動作対象としているかどうかを確認してください。

Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 の環境で

本製品のドライバをアンインストールしたい。

(IEEE1394 接続時のみ)

システムフォルダの機能拡張フォルダにコピーされた以下のファイルを削除してください。

B'sCrew FW Driver

その他：弊社ホームページについて

弊社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページにはソフトウェアのダウンロードコーナーや、各種製品に関する Q&A コーナーがあります。また、「サポート情報」では「お問い合わせ用紙」や「修理依頼書」などが、PDF 形式でダウンロード可能になっていますのでご活用ください。

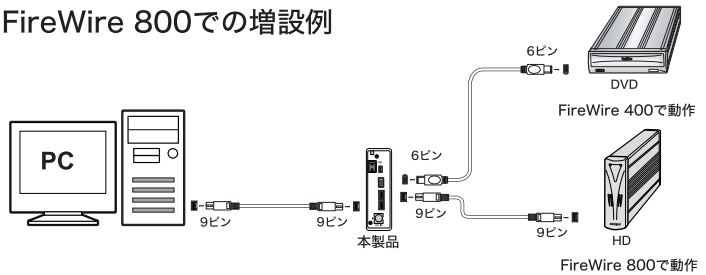
ホームページアドレス：<http://www.logitec.co.jp/>

4.4 IEEE1394 機器の増設について

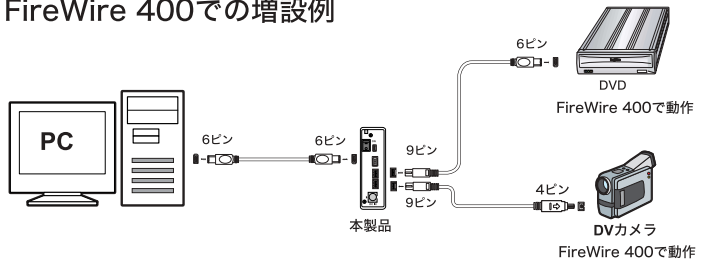
本製品のように IEEE1394 コネクタが3つ複数装備されている IEEE1394 機器は、パソコンとの接続に使用していないコネクタを使って IEEE1394 機器の増設を行うことができます。本節では、増設例及び制限事項についてご説明いたします。

4.4.1 増設例

FireWire 800での増設例



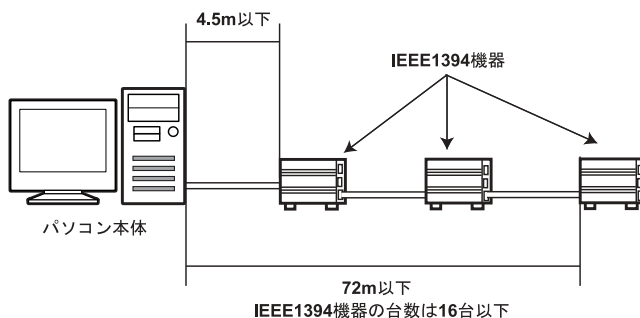
FireWire 400での増設例



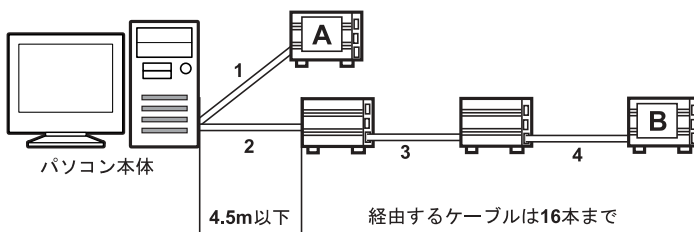
4.4.2 制限事項

IEEE1394 機器は、数珠繋ぎによる増設（デージーチェーン型）と、接続を分岐させる増設（ツリー方）の2つの方法で、機器を増設することができます。

- ・デージーチェーン型では、1本のケーブルの長さは最大4.5mまで、ケーブル長の合計は最大72mまでに制限されます。またIEEE1394機器の台数は16台以下(パソコン本体を含まない)に制限されます。



- ・ツリー型では、1本のケーブルの長さは4.5mまで、IEEE1394機器間で経路できるケーブルの本数に最大16本という制限があります。接続台数は62台以下(パソコン本体を含まない)ですが、Windows環境ではストレージ機器の台数はドライブ文字の限界（A～Z:でシステムが使用していないもの）に制限されます。



上図の「機器A」と「機器B」の間には4本のケーブルが使用されています。このようにカウントしたときに、どの機器とどの機器をを結ぶ場合にも、16本を超えるケーブルがあってはなりません。

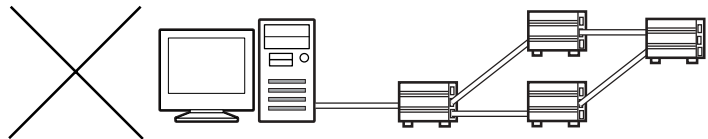
本製品をハブとして使用する際の注意

本製品の場合、FireWire 800 (IEEE1394b) ポートが2個、FireWire 400 (IEEE1394) ポートが1つとなっておりますので、以下のような制約があります。

- ・パソコンとの接続をFireWire 400 (IEEE1394) 接続で行った場合、増設するIEEE1394機器は全てFireWire 400 (IEEE1394) の転送速度 (400Mbps) となります。
- ・パソコンとの接続がFireWire800 (IEEE1394b) 接続の場合も、増設する機器を本製品のFireWire 400 (IEEE1394) コネクタに接続すると、その機器がIEEE1394b 対応の機器であってもFireWire 400 (IEEE1394) の転送速度 (400Mbps) となります。
- ・また、デジチェーン接続で増設時に、FireWire 400 (IEEE1394) 対応機器とFireWire 800 (IEEE1394b) 対応機器が混在している場合、FireWire 400 (IEEE1394) 対応機器が接続されている場所から先の機器の転送速度は全て400Mbps以下に制限されます。

ツリー型で増設する場合の注意

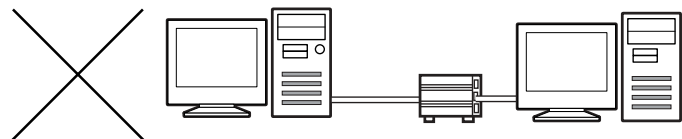
ツリー型で増設を行う場合、接続中にループ(たどってゆくと元に戻ってしまう接続)があってははいけません。



どれか1本のケーブルを外せばループが解消されるのでOKです。

その他の注意

複数のパソコンが1台のIEEE1394機器を同時に使用することはできません。



同時にアクセスはできません！

